

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 2274202254 | | |
| 法人名 | 株式会社イッセイ | | |
| 事業所名 | グループホーム平和 | | |
| 所在地 | 静岡県清水区西久保1-13-26 | | |
| 自己評価作成日 | 令和4年 12 月 28 日 | 評価結果市町村受理日 | 令和5年 2月 9日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人静岡県介護福祉士会 |
| 所在地 | 静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階 |
| 訪問調査日 | 令和5年 1月 18日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者の殆どが終の棲家として最期まで此処で暮らしています。看護職より介護職員のウエイトが大きく看取り介護がされています。今年は口腔内ケアに力を入れるようになり訪問歯科医による口腔内のケアの重要性や日頃のケアについて細かくご指導いただくようになりました。結果、職員の意識向上につながりました。ご利用者、1人ひとりの口腔内の状況にあったケアができるようになり食べる、食べられる、かむことの大事さを実感しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

経営母体である建設会社が手掛けた平屋の事業所は、親近感のある外観で玄関ポーチは広く開放的である。玄関ホールを中心として左右にユニットが別れているが、訪問調査当日、車椅子で広い通路を自由に行き来する利用者の姿が確認できた。毎年の外部評価受審により、利用者家族アンケートの声を確認しつつ、第三者である調査員の評価を受けて事業所の1年を振り返る機会としている。職員で分担して自己評価を行い、気づきから改善点をピックアップして職員全員で話し合う仕組みがある。コロナ禍においてはリスク管理を徹底しており、感染が起きないように予防策を講じている。

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|----|---|---|----|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが ○ 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 代表はこの地の神社の総代を長きにわたりボランティアで活動していることで地域住民との交流が活発に行われています。 | 理念や支援方針は、パンフレットやホームページに掲載があり、建物外に設置している電光掲示板で地域にも発信している。職員は、方針に沿って地域交流や季節感を大切に、できることを日々継続するように支援している。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 自治会に加入し自治会員として地域奉仕に参加しています。(回覧板の配布、自治会費集金、ピンカン当番参加等) | コロナ禍においては、リスク管理を徹底させている。職員意見も含め事業所で感染リスクが高いと判断した場合は、自粛する方針である。地域神社総代である法人代表や職員が、従来と変わらぬ交流を続けることで、今後もスムーズな付き合いが行えるように努めている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議では地域に暮らす高齢者世帯の日頃の情報を共有する場面がありました。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 9月に起きました台風15号による被害状況についての話し合いが行われました。断水中に地域で起きていた状況が話し合われました。参加した住民から断水中の生活の工夫を聞くことで今後の防災対策に役立てることができました。 | 外部評価回数緩和要件に拘ることなく、運営推進会議は回数より内容を重視して年4回程度実施している。年度初めに市介護保険課担当者の出席があり、地域関係者や家族代表も参加している。居間で開催しており、利用者も同席して職員も話を聞いている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 4月の地域運営推進会議では市の介護保険課の職員の参加をいただいています。コロナ禍での施設の生活、ご利用者の死亡事故の状況、災害時の施設対策、地域の防災対策、デイサービス相談員による運営状況等をお話さいただき現状を、ご理解いただきました。 | 昨年9月の台風による水害被害において、市介護保険課より状況確認の連絡はあったが、迅速な対応があったとは言いがたい。今回の反省を踏まえ、市との連携や適切な対応について話し合う必要性を感じている。市派遣事業である介護相談員の受入れを継続して行っている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 殆どの職員が「身体拘束とは何か」から学んでおり実践でも拘束をしないことを模索しながらケアに取り組んでいます(ケアの見返りも含めて) | 3か月に1度はミーティングを実施しており、その中で身体拘束に関する話し合いを行っている。短期目標を踏まえたケアカンファレンスにおいて、利用者個々の身体拘束について確認している。やむを得ず日常的にシートベルトを着用していた利用者は、現在ベルトなしの生活に改善している。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 玄関の壁に高齢者虐待防止についての広告を職員の目につくところに貼ってあります。高齢者虐待防止についてはケアの見返りの中でミーティングで話し合いがされています | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見制度を利用しているご利用者がいます。成年後見制度を利用しなければならない背景について理解をしています | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時は説明をしながら同意、署名をいただいています | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご利用者の要望については、ご家族が来所の折に伝えていきます。ご家族からの要望はお聞きしたら職員に反映させていきます。職員がご家族から聞くこともあります。(例 ご利用者が笑った写真が欲しい、ノンアルコールで良いが毎日焼酎、つまみを出して欲しい等) | 家族からの要望は、面会時等に管理者や職員が聞き取り、職員全員に周知している。自己評価に記載がある、笑顔の写真や夕方のノンアルコール飲料とつまみに関する要望は既に実践している。玄関先の面会は、ガラス越しの方が安心と感じている家族がいる。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎年2回 代表者との簡単な面談を行っている | 正規職員の面接は、法人代表が賞与のタイミングで行い、日々の業務確認や要望等を聞き取っている。パート職員には、管理者が随時話を聞いている。支援に関わる意見等は、利用者個々のケアカンファレンスで記録に残し、職員全員で見直しや改善を行っている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 要介護者を抱えながら勤務している職員もいますので勤務内容の調整をしています | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 介護経験のない職員には介護経験の豊かな職員が専属につくようにし施設独自で作成したジョブ評価表のもとで実践力を積み上げていきます | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 介護保険事業者連絡会に入っていることで他施設内の状況などが情報として入ってきます。以外はこのご時世なので同業者との直接の交流はありません | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 御家族から説明を受けずに入所されてきたご利用者の不安、帰宅願望に耳を傾け入所前にご利用していたデイサービスの活動(脳トレ、レクリエーション等)を日常に取り入れながら関係構築に努めました。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 2世帯で暮らす長男の相談です。母は障害があり父に介護が必要になってきました。母の疲弊した言動を聞くたびに入所を検討しはじめた長男、父の人柄が良いため入所をためらっていました。相談を受けながら満足に介護できない障害をもつ母と切り離すほうが父にとって良策であるという結果がでました。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 独居のご利用者で緊急入院後不穏がひどく病態は安定したが在宅で1人での生活はできないということでした。最後まで暮らせる安住の地をもとめての入所でした。身内もなく唯一旧知の中でいらっしゃる方が、身元保証人になっています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご利用者様の出来ることや個性を大切に職員と一緒に食材を切る、皮むき、洗濯たみを楽しみながらやっています。できなくなってしまうことはサポートしながら信頼関係に努めています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 御家族に内科以外の病院受診をお願いしたり衣類や必要なものがあれば連絡を取り持ってきていただいています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 運営推進会議では参加する地域住民の中にご利用者の息子と同級生がいたりします。会議参加の折には、ご利用者に声をかけていただいています。 | 時間制限はあるが、玄関先で直接面会することができる。重度の難聴の利用者との面会には、筆談でコミュニケーションを取ってもらうようにしている。家族から届いた手紙は、職員が読み上げたり自分で読み返したりしている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | テーブル席の配置はご利用者一人ひとりの個性やコミュニケーション能力を考慮し孤立しない支援に努めている。又、男性ご利用者の横に超高齢の介護5のご利用者がいることで男性ご利用者が母親のように思えるようで優しい視線や介護の手を伸ばしてくださいます | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 10数年前に退去したご利用者のご家族が毎年来所して下さいます。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入所に至るまでの生活歴や介護の経過を全職員で把握しご利用者にあった環境づくりに努めています。生活の中でも表情や行動を見逃さずご利用者の思いをくみ取るようにしています。 | 居間で過ごしている際に声をかけることにより、本人の話を引き出すようにしている。利用者の言葉を拾うことは当然であるが、職員が現場で気づいたことや聞き取ったことは、当日中の解決を心がけ職員全員に周知している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 日々、日常の中でご利用者との会話に職員が交わり情報を得るようにしています。得られた情報は職員間で共有し介護に生かしています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 24時間の中で夜間の様子、日中の様子、動きや状態に変化があったご利用者への報告は、業務記録に残したり口頭で引継ぎをして情報の共有に努めています | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 定期的な見直しは半年ごとに行っています。見直し時短期目標、介護サービスの内容について現状に即したのか、変更が必要か職員から意見を聞くようにしています。改善点があれば職員間で引継ぎ暫定プランで行う時もあります | モニタリングを兼ねたミーティングを実施している。個人別のケアカンファレンスは、短期目標や支援内容に関する質問について職員が自身の考えや意見を記入する方法で行い、管理者が介護計画に反映させている。利用者全員のモニタリング実施と介護計画の作成は管理者が行っている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 一日を3回に分け日中、夜間(寝るまでの様子、就寝中の様子)の記録を記入しています。日々の記録や課題に対する解決策を話し合い暫定で介護することもあり結果を職員間で報告しあっています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | コロナ禍での面会には苦慮しているところですが、感染者数が安定している時期には玄関でマスク着用で面会していただいています。難聴の酷いご利用者様の面会ではボード版、マジックを持ち込んでもらいコミュニケーションをとっていただいています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 去る9月23日の台風被害で断水が続きましたが地域に住む住民から井戸水の提供の提案をされました。井戸水や地下水の地域資源を知ることができました | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 内科、歯科以外は入所前から通院していた病院をご家族同伴で受診していただいています。 | 利用者全員が協力医を主治医としており、定期往診を毎月受けている。眼科や精神科等の専門医への受診は家族が付き添うが、最近代行受診を依頼する家族が増えている。看護師である管理者が利用者全員の健康状態を把握しており、主治医とは24時間体制で連携している。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 管理者が看護師であることから日頃の健康管理すべき観察事項については行っている。体調不良、急変時の対応についても報告し介護指示を受けています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 今年はい入院した事例がありません。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居の相談では終末期の在り方を話し合うことがあります。契約時、重度化、終末時の在り方についてホームの考え方について書面にしたものに同意をいただくようにしています | 昨年度は4人の看取り支援を行い、現在は年明けから2人が重度化している。ベテラン職員の主導で最終判断は管理者に仰ぐ流れがあり、スムーズな支援が行えている。職員は、自身や家族にとって心残りのないように支援している。「最期を看取ることができなかった」と悔しがる職員がいる。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 当施設での勤務歴の長い職員が多く急変や事故対応を経験し実践で身に付けています。経験の浅い職員はベテランから教示をうけたり研修に出ます。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 去る9月23日の台風災害については実際に起こっている災害を経験し反省会を開き次の災害に備えるようになりました。又災害後に地域運営推進会議では地域の反省点も話題になりました。 | 台風15号による5日間の断水により、スプリンクラーからの生活用水調達は2日分が限度であること、また、飲料水等の備蓄品管理場所の職員全員への周知が不十分であることが判明した。今後、生活用水の確保を含めた備蓄管理を徹底していく考えである。 | 自家発電機の稼働訓練を前回ステップとしていたが、使用燃料であるガソリンが購入困難で実施できていない。使用方法を再考し、必ず稼働訓練を実施しておくことが望ましい。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 日頃より目上の方という意識を持って接するように心がけています。介護に慣れると友達のような口調になってしまうことがあるので自身が注意するようにしています。 | 利用者の発言を最後まで聞き取り、遮ることなく傾聴することを心がけている。着替えなど、ほんの一部でも自分でできることは利用者に任せて、職員は見守っている。女性の下着交換や入浴時の洗身に関して、羞恥心やハラスメントに配慮して女性職員に任せる支援内容を決めている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | トイレや口腔ケアなどのケアを誘導する際にご利用者のタイミングに合わせて誘導させていただいています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご自分の部屋で本や新聞を読まれる方、居室からフロアへのご自分の席に座りテレビを観たりお茶を飲まれる方もいます。ご自分のペースで一日を過ごされていますのでペースを乱さないように見守りさせていただいています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご自分で洋服を選んで着られる方がいます。同じものしか着ない方は劣化がひどいので同じような衣服を差し入れていただくようにしています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | ご利用者と一緒にフロアテーブルで食材の皮むきをしています。嫌いな食材は代用のものを用意しておだしています | 食事は全て手作りで、メニューは当番制で1か月毎に決めている。昼食には必ず手作りヨーグルト(便通改善)とバナナ(高血圧予防)を添えている。誕生会やクリスマスには、手作りケーキのデコレーションを手伝う人がいる。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分、栄養が十分摂れない方には状況に応じてゼリー、ジュース、紅茶などの水分を代用しています。高齢者の特性を考慮し肉類は湯煎、野菜はスープにしてあっさり仕立てにしています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 残っている歯のないご利用者には食後マウスウォッシュをしていただきます。訪問歯科医のご指導で歯間ブラシ(各ご利用者によりサイズは違います)を使用する際は職員がお手伝いしています。入れ歯は每晚ポリドントにつけさせていただいています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄確認表があり各ご利用者の排泄の回数、状況を記入し1人ひとりの排泄パターンを把握しています。ご自分でトイレに行かれる方も定時刻に声掛け誘導は行っています。 | 日中は定時誘導を行うが、個々のパターンに合わせた声掛けも行っている。夜間の睡眠を妨げないように、またポータブルトイレを使用する人の排泄量に応じて、オムツやパット等の種類を適宜調節している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 昼食後のデザートに酵母菌の入ったヨーグルトをお出ししています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 人の介入を拒否するご利用者には毎日の入浴への声掛けをしています。入浴の受け入れが可能になった時点で気が変わらないうちに浴室への誘導をさせていただいています。受け入れの反応を見て異性職員にお願いすることもあります。 | 週3回、重度の人から順番に各ユニット3～4名が入浴している。自宅での入浴時間を配慮して、午後3時頃から開始している。本人の表情を見ながら無理強いせずに浴室へ誘導している。乾燥気味の肌の人には、入浴後に保湿剤を塗っている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 夜間眠れなかった翌日の午前中、うとうとテーブル席で転寝をしているご利用者も居室のベッドで休んでいただいています。夕方から寝てしまうご利用者は当日夜、不眠になるのでテーブル席で過ごしていただくようにしています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 個人の記録内に薬の薬事情報が入っており薬の名前、効果、副作用等の内容が書かれている。糖尿病薬、降圧剤、緩下剤の内容は把握できています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 不安を繰り返し訴えるご利用者、帰宅願望が強く落ち着きなく動かれるご利用者に対し脳トレ、パズル、トランプゲーム等を職員と楽しませたりすることで穏やかな時間を過ごすことができている | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ禍での行きたいところへの支援はしていません。ご家族、ご本人の希望もあり補聴器の点検に外出されています。 | コロナ禍により、リスクを伴う外出支援は自粛しているが、可能な利用者は事業所周辺の散歩に出かけることもある。中庭で季節を感じながらの外気浴と室内での軽い運動を小まめに行っている。眼科等の専門医への受診の際には、家族との外出機会がある。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 御家族が、入所時にご利用者に持たせてくださっている方もいます。入所当初は食事のたびにお金を払おうとし胸ポケットに小銭を入れていました。お金の支払いの必要がないことに慣れてしまいお金のことを言わなくなりました。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 面会ができない時期にはご家族からお手紙をいただきご本人に読んで差し上げたりご自分で幾度となく読み返しています。忘れないようお手紙を居室、壁に貼ってあります。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | フロア一壁には季節ごとにタペストリーが飾られています。（1月はタコ、獅子舞、羽根つき、駒等） | 現在の居間は節分の鬼飾りが施されており、次の飾りはお雛様である。日に2回の換気を行い、室温や時間帯に合わせて床暖房とエアコンを有効的に活用している。中庭の落葉樹や地に根付いた大株のポインセチアが、毎年季節の移り変わりを教えてくれている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | フロア一に設置してあるソファーに午前中ガラス越しに陽がはいり日光浴ができる場所があります。職員の誘導の元で3人ほどで座られてゆっくりとお茶を飲まれたりお話をされています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご自分の部屋のベッドで休まれることを日課にされているご利用者のベッド周囲は、ご希望にそった配置となっています。配置を崩さないようにしています。 | 各居室入口の暖簾が表札代わりで、長さは個々の状況に合わせている。家族からの手紙を忘れないように壁に貼っている人や小物の配置に拘る人もいます。居室に籠りがちな人には、折々に声をかけ居間へ誘っている。リネン類は週に1度洗濯を行い、布団も定期的に干している。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ご自分でパッドを替えられるご利用者がいます。処分は、トイレ内に蓋つきのバケツが用意されご自身で処理されています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 代表はこの地の神社の総代を長きにわたりボランティアとして活動していることで地域住民との交流が活発に行われています。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 自治会に加入し自治会員として地域奉仕に参加しています。(回覧板の配布、自治会費集金、ピンカン当番参加等) | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議では地域に暮らす高齢者世帯での日頃の情報を共有する場面がありました。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 9月に起きました台風15号による被害状況についての話し合いが行われました。断水中に地域で起きていた状況が話し合われました。参加した住民から断水中の生活の工夫を聞くことで今後の防災対策に役立てることができました。 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 4月の地域運営推進会議では市の介護保険課の職員の参加をいただいています。コロナ禍での施設の生活、ご利用者の死亡事故の状況、災害時の施設対策、地域の防災対策、デイサービス相談員による運営状況等をお話さいただき現状を理解していただきました。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 殆どの職員が「身体拘束とは何か」から学んでおり実践でも拘束をしないことを模索しながらケアに取り組んでいます(ケアの見返りも含めて) | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 玄関の壁に高齢者虐待防止についての広告を職員の目につくところに貼ってあります。高齢者虐待防止についてはケアの見返りの中でミーティングで話し合いがされています | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見制度を利用しているご利用者がいます。成年後見制度を利用しなければならない背景について理解をしています | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時は説明をしながら同意、署名をしていただいています | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 毎月のお便りを出している中に1か月の介護記録(生活の様子)のコピーを付けています。必ずご心配なことやご要望についてはご相談を受ける旨伝えています。 | | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎年2回 代表者との簡単な面談を行っています。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 要介護者を抱えながら勤務している職員もいますので勤務の調整をしています | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 介護経験のない職員には介護経験の豊かな職員が専属につくようにし施設独自に作成したジョブ評価表のもとで実践力を積み上げていきます | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 介護保険事業者連絡会に入っていることで他施設内の状況などが情報として入ってきます。以外はこのご時世なので同業者との直接の交流はありません | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|-----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 独居で身寄りがない入所相談が後見保佐人からありました。長年住み慣れた賃貸アパートの取り壊しにあい終の棲家を探しているところでした。家具や衣類の持ち出し、準備するものの判断ができず入所話が進まずにいましたが、ホームでの生活必需品を希望に沿って集めることでご本人の意思を固めることができました | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 日中は独居に近く娘様が長年通いながらお世話をしていましたが転ぶたびに介護の限界を感じていきました。仕事をしながらの介護でしたので思いのたけを時間をかけてお話を伺いました。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 息子と2人暮らしでした。日中は独居になると一人で出かけ家に戻れなくなり警察に保護されたことのある要介護高齢者の入所相談でした。ご利用者よりご家族の不安は大きく早急に入所できるよう在宅のケアマネージャーより情報をいただきました。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご利用者様の出来ることや個性を大切に職員と一緒に食材を切る、皮むき、洗濯たみを楽しみながらやっています。できなくなってしまうことはサポートしながら信頼関係に努めています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 御家族に内科以外の病院受診をお願いしたり衣類や必要なものがあれば連絡を取り持ってきていただいています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 住民の中には母親とご利用者が同級生という旧知の友人関係がありコロナ禍での面会はないませんが時々元気かどうか様子をお知らせしています。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | テーブル席の配置はご利用者一人ひとりの個性やコミュニケーション能力を考慮し孤立しない支援に努めています。同じテーブル席にいるもの通しで声を掛け合っている姿をみかけます。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 10数年前に退去したご利用者のご家族が毎年 来所して下さいます。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入所に至るまでの生活歴や介護の経過を全職員で把握しご利用者にあった環境づくりに努めています。生活の中でも表情や行動を見過さずご利用者の思いをくみ取るようにしています。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 日々、日常の中でご利用者との会話に職員が 交わり情報を得るようにしています。得られた情報は職員間で共有し介護に生かしています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 24時間の中で夜間の様子、日中の様子、動きや状態に変化があったご利用者への報告は、業務記録に残したり口頭で引継ぎをして情報の共有に努めています | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 定期的な見直しは半年ごとに行っています。見直し時短期目標、介護サービスの内容について現状に即したものか、変更が必要か職員から意見を聞くようにしています。改善点があれば職員間で引継ぎ暫定プランで行う時もあります | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 一日を3回に分け日中、夜間(寝るまでの様子、就寝中の様子)の記録を記入しています。日々の記録や課題に対する解決策を話し合い暫定で介護することもあり結果を職員間で報告しあっています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | コロナ禍での面会には苦慮しているところですが、感染者数が安定している時期には玄関でマスク着用で面会していただいています。感染者数が増加している時期は電話や玄関でガラス越しに中の様子を見ていただいています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 去る9月23日の台風被害で断水が続きましたが地域に住む住民から井戸水の提供の提案をされました。井戸水や地下水の地域資源を知ることができました | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 内科、歯科以外は入所前から通院していた病院を受診していただいています。 | | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 管理者が看護師であることから日頃の健康管理すべき観察事項については行っています。体調不良、急変時の対応についても報告し介護指示を受けています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 今年には入院した事例がありません。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居の相談時に終末期の在り方を話し合うことがあります。契約時、重度化、終末期の在り方についてホームの考え方について書面にしたものに同意をいただくようにしています | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 当施設での勤務歴の長い職員が多く急変や事故対応を経験し実践で身に付けています。経験の浅い職員はベテランから教示をうけたり研修に出ます。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 去る9月23日の台風災害については実際に起こっている災害を経験し反省会を開き次の災害に備えるようにしました。又災害後に地域運営推進会議では地域の反省点も話題になりました。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 日頃より目上の方という意識を持って接するように心がけています。介護に慣れると友達のような口調になってしまうことがあるので自身が注意するようにしています。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | トイレや口腔ケアなどのお世話を誘導する際にご利用者のタイミングに合わせて誘導させていただいています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | フロアや居室を行き来しているご利用者がいます。不要な声掛けは避けて自由に動かれています。又、ご利用者の状況やご希望に沿ってお部屋で休んでいただいています。又お部屋で過ごしている方もいます | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご自分で洋服を選んで着られる方がいます。一日に何度か着替えられる方もいますが、ご自分でじっくりこないようです。ご本人の意思に任せています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | ご利用者と一緒にフロアテーブルで食材の皮むきをしています。嫌いな食材は代用のものを用意しておだしています | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分、栄養が十分摂れない方には状況に応じてゼリー、ジュース、紅茶などの水分を代用しています。高齢者の特性を考慮し肉類は湯煎、野菜はスープにしてあっさり仕立てにしています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 残っている歯のないご利用者には食後マウスウォッシュをしていただいています。訪問歯科医のご指導で歯間ブラシ(各ご利用者によりサイズは違います)の使用については職員がお手伝いしています。入れ歯は每晚ポリドントにつけさせていただいています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄確認表があり各ご利用者の排泄の回数、状況を記入し一人ひとりの排泄パターンを把握しています。ご自分でトイレに行かれる方も定時刻にはトイレの声掛け、誘導は行っています。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 昼食後のデザートに酵母菌の入ったヨーグルトをお出ししています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | ご自分から好んで入浴を希望されるご利用者は少ないです。ご自分から入浴の曜日や時間帯を質問される方には当日お約束することはありません。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 夜間眠れなかった翌日の午前中、うとうとテーブル席で転寝をしているご利用者も居室のベッドで休んでいただいています。夕方から寝てしまうご利用者は当日夜不眠になるのでテーブル席で過ごしていただくようにしています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 、個人の記録内に薬の薬事情報が入っており薬の名前、効果、副作用等の内容が書かれています。糖尿病薬、降圧剤、緩下剤の内容は把握できています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 不安を繰り返し訴えるご利用者、帰宅願望が強く落ち着きなく動かれるご利用者に対し脳トレ、パズル、トランプゲーム等を職員と楽しまれたりすることで穏やかな時間を過ごすことができます | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ禍での生活は、行きたいところへの支援はしていません。ご家族、ご本人の希望もありお墓参りに行かれる方はいます。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 御家族が、入所時に、ご利用者に持たせてくださっている方もいますがご自分から使いたいとおっしゃる方はいません | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 面会ができない時期にはご家族からお手紙をいただきご本人に読んで差し上げたりご自分で幾度となく読み返しています。忘れないようお手紙を居室、壁に貼ってある方もいます。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | フロア一壁には季節ごとにタペストリーが飾られています。(1月はタコ、獅子舞、羽根つき、駒等) | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | フロアを自由に動かれる方はテーブル席で過ごしたりフロアに設置してあるソファに座ってすごされていることもあります。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご自分の部屋のベッドで休まれることを日課にされているご利用者のベッド周囲は、ご希望にそった配置となっています。配置を崩さないようにしています。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ご自分でパッドを替えられるご利用者がいます。」 処分は、トイレ内に蓋つきのバケツが用意されご自身で処理されている | | |